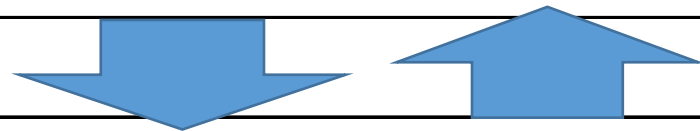


今後の検証作業について

実施計画シート

総合戦略の推進にあたっては「聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」により、各事業の数値目標等、実施した施策・事業の効果を検証します。
(年1~2回)



各所属においては、推進会議での意見等を踏まえ、総合戦略事業の数値目標を所属の目標に定めるなど、確実に達成できるよう実施計画を定め、着実に実行する。

基本目標	施策番号	事業番号	1-①-1
1	①	1	

担当課	総務課
-----	-----

基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
事業名	ふるさと納税制度を活用した地場産品の魅力発信
具体的事業内容	ふるさと納税寄付金の増額に向けて、地場産品PRや広告宣伝、返礼品の増加など

戦略策定時の課題	町内の主要な農産物は既に返礼品登録済み。一方、農産物以外の返礼品も追加してきていることで、寄付者への返礼品は分散してきている。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	ふるさと納税制度を活用し、町の地場産品を返礼品として送付することで、町外にPRするとともに、販路拡大につなげます。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
ふるさと納税寄付額	4千万円	1億円

KPIの算出方法等記載	年度決算額
-------------	-------

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:万円	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果
		0.0%	

実施計画	年度目標A 単位:万円
2020年度 ポータルサイト全主要サイト登録(～6月まで) 職員による寄付金募集キャンペーン4月・8月 クラウドファンディングの検討	6,000
2021年度	8,000
2022年度	10,000
2023年度	10,000
2024年度	10,000

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	1-①-2
1	①	2	

担当課	産業観光課
-----	-------

基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
事業名	生産者に対する「チャレンジ育成型」の取り組み
具体的事業内容	農産物の販路拡大やブランド化に取り組む生産者への活動支援

戦略策定時の課題	当町で産地化が進んでいるさくばんぼやぶどうなどは観光農園が経営され栽培方法も個々に確立されている部分が多い。町のブランドとして品質規格の統一化は難しい。意欲的に販路拡大等に取り組む生産者へ個々に活動支援することにより最終的な帰結として産地化を目指すべき。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	「いかに売るか」に意欲的に取り組む生産者を後方支援し、そこで得た知識を生産者全体で共有する「チャレンジ育成型」の取り組みを進めます。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
販路拡大に取り組む生産者支援件数(5年累計)	—	10件

KPIの算出方法等記載
支援件数の2024年度までの累計とする。複数年支援の場合は複数回カウント(例:3年間事業→カウント3)

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績 検証

年度	実施計画	年度目標A 単位:件
2020年度	事業の詳細設計	
2021年度	事業開始	3
2022年度		3
2023年度		4
2024年度	事業の評価検証	10

実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:件	達成度(B/A) %	検証 推進会議での検証結果

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	1-①-3
1	①	3	

担当課	産業観光課
-----	-------

基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
事業名	新規就農者確保対策事業
具体的事業内容	国の農業次世代人事投資事業を活用し、町で認定する新規就農者に対し給付。

戦略策定時の課題	聖籠町における営農の持続性のため、引き続き、国の制度を活用して青年農業者の就農を図っていくことは重要。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	新規就農者やその他多様な担い手の確保と育成対策を推進するとともに、経営の安定対策に努めます。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値 2015～2019	目標値 2020～2024
新たな新規就農者の認定件数(累計)	6人	6人

KPIの算出方法等記載	町から青年等就農計画の認定を受け認定新規就農者となった者の人数(5年間の累計)
-------------	---

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:人	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:人
2020年度 認定新規就農者への認定及び給付金の給付	1
2021年度 "	1
2022年度 "	1
2023年度 "	1
2024年度 "	2

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	1-①-4
1	①	4	

担当課	産業観光課
-----	-------

基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
事業名	ほ場整備を契機とした新たな営農体系構築
具体的事業内容	担い手への農地集積の推進。水稻以外の園芸導入の推奨。

戦略策定時の課題	現在、ほ場整備を計画している地域が6地区ある。一方で人口減少や高齢化、食生活の変化に伴い、国内の市場規模は量的縮小の可能性あり。何をつくりどう売るかについて考えるべき。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	農業経営の安定と生産性の向上を図るため、ほ場整備など担い手への農地集積を推進し、農作業の省力化、効率化を図る。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
担い手集積率	60.1%	65.0%

KPIの算出方法等記載	
-------------	--

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績	検証
----	----

	実施計画	年度目標A 単位:%
2020年度	○農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約を推進。 ○地区が主となって活動してるほ場整備に向けた話し合いの支援	61.0%
2021年度	〃	62.0%
2022年度	〃	63.0%
2023年度	〃	64.0%
2024年度	〃	65.0%

実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:%	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	1-②-1
1	②	1	

担当課	産業観光課
-----	-------

基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
施策名	地域資源を活かした広域連携による観光振興
事業名	海のレジャー・スポーツ等のイベント開催
具体的事業内容	海洋レジャー・スポーツイベントを開催し、海の魅力を町内外に発信し、交流人口の拡大を図る

戦略策定時の課題	本町はセーリングやサーフィンの地として定評があるが、恒常的な広域連携にうまく発展させることができていない。聖籠の海の魅力を町内外に発信することの意義はあるが、事業の位置づけを明確にすべきである。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	聖籠町海のにぎわい館を中心に、海洋レジャースポーツのイベントを開催し、聖籠町の海の魅力を町内外に発信し、交流人口の拡大を図ります。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
海のレジャーイベント参加者数	365人	800人

KPIの算出方法等記載	イベント参加者数の人数
-------------	-------------

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:人	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:人
2020年度 開催イベントの検討及び開催	605
2021年度	650
2022年度	700
2023年度	750
2024年度	800

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	1-②-2
1	②	2	

担当課	産業観光課
-----	-------

基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
施策名	地域資源を活かした広域連携による観光振興
事業名	交流人口拡大のための広域的な観光周遊ルートの整備
具体的事業内容	広域圏での観光周遊ルート整備、海外や首都圏に向けた観光PR

戦略策定時の課題	地方創生の主要事業としてインバウンドをはじめとする観光事業がとりざたされているものの、町には観光産業が分厚く形成されてなく、町の主な観光資源であるさくらんぼ・ぶどうの観光農園、マリンレジャーは季節的である。また、ベッドタウンとして認知されてきているなか、町の観光事業をどうしていくのかランドデザインが描けていない。
----------	---

↓

戦略内容(戦略記載文)	新発田・胎内・聖籠町定住自立圏での広域観光ルートの整備を行い、海外や首都圏に向けたPRや誘客活動に取り組みます。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
定住自立圏での観光周遊ルート数	—	1件

KPIの算出方法等記載
聖籠町を周遊するルート数

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:件	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:件
2020年度 PR動画を用いた観光広域観光ルートの検証	0
2021年度	0
2022年度	0
2023年度	0
2024年度	1

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	1-③-1
1	③	1	

担当課	東港振興室
-----	-------

基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
施策名	新潟東港を核とした経済振興
事業名	新潟東港工業地帯における立地企業の規模拡大・未操業地への進出の促進
具体的事業内容	企業立地促進条例を見直し、未操業企業への訪問活動。

戦略策定時の課題	東港工業地帯の分譲用地はすでに完売しており、新たな企業進出が見込みづらい状況にある。一方で、企業が用地を取得したものの工場等の建設がなされていない場所がある。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	企業立地促進条例の見直しを通じて、既存の立地企業の設備投資による規模拡大・未操業地等への企業進出を促進します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値 2020～2024
企業による新規進出または規模拡大の件数 (5年間累計)	25件	35件

KPIの算出方法等記載	企業立地奨励金の申請や町への事前相談により事前把握できた企業の件数。
-------------	------------------------------------

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:件	達成度 (B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:件
2020年度	聖籠町企業立地促進条例の改正 企業立地奨励金の周知、企業への訪問活動の実施	7
2021年度	企業立地奨励金の周知、企業への訪問活動等の実施	14
2022年度	地域未来投資促進法 新潟市聖籠町基本計画の見直し 企業立地奨励金の周知、企業への訪問活動等の実施	21
2023年度	企業立地奨励金の周知、企業への訪問活動等の実施	28
2024年度	企業立地奨励金の周知、企業への訪問活動等の実施	35

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	2-①-1
2	①	1	

担当課	総務課
-----	-----

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	結婚の希望をかなえる
事業名	結婚の希望をかなえるための婚活事業の推進
具体的事業内容	出会いイベント、結婚や家族をテーマにしたライフデザインセミナー、恋カフェ（婚活無料相談会）等を近隣自治体と広域的に連携して実施する。

戦略策定時の課題	結婚を希望する人にとって出会いの場の一つを提供しているが、事業のインパクトは大きくない。
----------	--

戦略内容（戦略記載文）	結婚を望む人の希望をかなえるため、近隣自治体と広域的に連携して「出会う前から結婚までの切れ目ない支援」を継続し、婚活イベントや結婚セミナー等を実施します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
婚活イベント参加者の平均カップル率	38%	42%

KPIの算出方法等記載	
町総務課調べ(定住自立圏)	

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:%	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:%
2020年度 事業のPR周知	
2021年度 定住自立圏事業見直し	
2022年度 事業のPR周知	
2023年度 事業のPR周知	
2024年度 事業のPR周知	

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	2-②-1
2	②	1	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	安心して子育てできる家族への応援
事業名	健やか子育て誕生祝金・健やか子育て支援金の支給
具体的事業内容	誕生祝金、子育て支援金を支給。 ・誕生祝金：第1子から第3子まで5万円、第4子以降10万円 ・子育て支援金：第4子以降、小学校就学前まで1人あたり月額5千円

戦略策定時の課題	本事業は子育ての経済的負担の軽減策として機能している。
----------	-----------------------------

↓

戦略内容(戦略記載文)	出生率の向上と若者の定住を促進するため、第1子から健やか子育て誕生祝金を支給します。また、第4子以降には、小学校入学前まで子育て支援金を支給します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
なし		

KPIの算出方法等記載

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:
2020年度 継続実施	
2021年度 継続実施	
2022年度 継続実施	
2023年度 継続実施	
2024年度 継続実施	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	2-②-2
2	②	2	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	安心して子育てできる家族への応援
事業名	子育て支援体制の充実
具体的事業内容	子ども家庭相談センターを中心に保健・医療・福祉・教育のネットワークを構築し、切れ目ない支援で町の子育て支援体制の充実を図る。

戦略策定時の課題	センターの活動の定着とともに、相談件数は増加してきており、子育ての孤独や不安に寄り添い、こどもに関する諸問題に対応する事業の重要性が高まっている。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	子ども及び家庭に関する総合相談窓口となる「子ども家庭相談センター」を核にして、学校、地域、家庭との連携を強化しつつ、母子保健分野での「子育て世代包括支援センター」の保健・医療・福祉関係とのネットワークを深め、相談体制の構築と適切な対応を図ります。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
なし		

KPIの算出方法等記載

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:
2020年度	「子ども家庭総合支援拠点」「子育て世代包括支援センター」を設置	
2021年度	相談・支援の実施 拠点機能等の検証及び修正を随時実施	
2022年度	相談・支援の実施 拠点機能等の検証及び修正を随時実施	
2023年度	相談・支援の実施 拠点機能等の検証及び修正を随時実施	
2024年度	相談・支援の実施 拠点機能等の検証及び修正を随時実施	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	2-②-3
2	②	3	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	安心して子育てできる家族への応援
事業名	仕事と子育ての両立の応援
具体的事業内容	保育ニーズ・幼児教育の要望に対応するため、0～5歳児までの幅広い年齢層の児童を受入れることができる保育・幼児教育体制を構築する。

戦略策定時の課題	保育ニーズは増加していることから、受け入れ体制の確保の重要性は高まっている。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	↓ 変わりゆく保育ニーズに対応できるよう施設の誘致も視野に入れながら、入所希望者全員が入所可能な環境を整備し、仕事と子育ての両立を支援します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
保育園・幼稚園での待機児童数	0	0

KPIの算出方法等記載	
町子ども教育課調べ	

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:人	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:人
2020年度 準備・調整	
2021年度 事業着手	
2022年度 0～5歳児受入施設の開設(最短の場合)	
2023年度	
2024年度	

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	2-②-4
2	②	4	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	安心して子育てできる家族への応援
事業名	子育て支援強化による地域交流施設「そだちの家」の活用展開
具体的事業内容	蓮湯こども園で預かり保育で利用しない時間帯「子育て支援センター」を現行の「聖籠こども園」から「そだちの家」へ移設し、0～2歳児での在宅子育て親子における交流の場の拠点とする

戦略策定時の課題	仕事と子育ての両立から、国の政策である幼児教育無償化も手伝って、預かり保育のニーズは増加するものと思われる。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	↓ 保護者の保育ニーズの多様化に対応するため、こども園(幼稚園)での預かり保育を継続するとともに、在宅子育て親子の交流の場としての「子育て支援センター」機能や多世代交流の場などへの活用の展開を図ります。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
預かり保育以外の利用者件数(年間延べ人数)	20	200

KPIの算出方法等記載

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

年度	実施計画	年度目標A 単位:
2020年度	子育て支援センター移設による試験運営	
2021年度	子育て支援センターの本格運営開始	
2022年度		
2023年度		
2024年度		

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	2-③-1
2	③	1	

担当課	総務課
-----	-----

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	子育てをしながら働き続けられる環境整備
事業名	男女共同参画社会・女性活躍推進に向けた取組み
具体的事業内容	聖籠町男女共同参画計画の推進と新潟県が推進する「ハッピー・パートナー企業」並びに「イクメン応援プラス」「子育て応援プラス」の登録の拡大を図り、男女共同参画への理解を促進する。

戦略策定時の課題	子育てと仕事の両立のためにも、男女共同参画社会・女性活躍推進の取り組みは重要性は高まっている。一方で、町の30～49歳の61%は町外で就労していることから、定住自立圏など広域的な取り組みが効果的と考える。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備を促進するため、第3次聖籠町男女共同参画計画(聖籠町女性活躍推進計画)に基づき、新潟県が推進する「ハッピー・パートナー企業」並びに「イクメン応援プラス」「子育て応援プラス」の登録について、町の商工団体、新潟東港聖籠地区立地企業連絡協議会等を通じ、町内事業所へ周知し、男女共同参画への理解を促進するとともに、それぞれの登録に向けた働きかけを行います。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
ハッピー・パートナー企業登録数	7	20

KPIの算出方法等記載	
町総務課調べ	

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:件	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:件
2020年度	関係機関との事業連携の強化 ハッピー・パートナー登録の推奨	
2021年度	関係機関との事業連携の強化 ハッピー・パートナー登録の推奨	
2022年度	関係機関との事業連携の強化 ハッピー・パートナー登録の推奨 男女共同参画計画の検証	
2023年度	関係機関との事業連携の強化 ハッピー・パートナー登録の推奨	
2024年度	関係機関との事業連携の強化 ハッピー・パートナー登録の推奨	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	2-④-1
2	④	1	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	未来を創る子どもの育成
事業名	企画力を育むプログラミング教育の促進
具体的事業内容	子どもたちの情報収集・判断力や理論的思考の向上に向けてプログラミング教育を実施するとともに、ICT機器を使用した教育環境の整備や支援に取り組みを行う。

戦略策定時の課題	
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	子どもたちの理論的思考力・企画力の向上に向けてプログラミング教育を実施するとともに、ICT機器を使用した教育環境の整備と活用への支援を行います。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)		基準値	目標値
断定的肯定割合	授業で毎日PC等のICTを活用している	小学校 7.1% 中学校 78%	小学校 80% 中学校 100%
	授業でもっとPC等のICTを活用したい	小学校 60.3% 中学校 39.4%	小学校 80% 中学校 60%
プログラミングが楽しい・好きという割合		—	80%

KPIの算出方法等記載	
断定的肯定割合:町子ども教育課「全国学力学習調査の質問」 プログラミングが楽しい・好きという割合:町子ども教育課調べ	

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績 検証

	実施計画	年度目標A 単位:%
2020年度	・一人1台のICT機器の整備 ・教員のICT機器の活用能力を高める研修の充実 ・プログラミング教育推進体制の構築の検討 ・学校外でのプログラミング教育の実施	
2021年度	・教員のICT機器の活用能力を高める研修の充実 ・プログラミング教育推進体制の構築の検討 ・学校外でのプログラミング教育の実施	
2022年度	・教員のICT機器の活用能力を高める研修の充実 ・プログラミング教育推進体制の構築 ・学校外でのプログラミング教育の実施	
2023年度	・教員のICT機器の活用能力を高める研修の充実 ・プログラミング教育推進 ・学校外でのプログラミング教育の実施	
2024年度	・教員のICT機器の活用能力を高める研修の充実 ・プログラミング教育推進 ・学校外でのプログラミング教育の実施	

実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:%	達成度(B/A) %	検証 推進会議での検証結果

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	2-④-2
2	④	2	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	未来を創る子どもの育成
事業名	地域への愛着をもったグローバル人材の育成
具体的事業内容	外国語教材や教具の導入、外国語でコミュニケーションする機会の提供。 地域や町に関する知識・理解と郷土愛を育む教育を実施。

戦略策定時の課題	
----------	--

戦略内容 (戦略記載文)	外国人と臆せずにコミュニケーションできる能力を育み、その内容を豊かにするため、外国語教材や教具の導入、外国語でのコミュニケーションを必要とする場の設定を支援します。 子どもたちの地域や町に関する知識・理解の獲得をめざし、郷土愛を育む教育を実施します。
-----------------	--

KPI(重要業績評価指標)		基準値	目標値
断定的肯定割合	外国の人と友達になったり、外国のことを知ったりしてみたい	—	小学校 80% 中学校 100%
	日本に住んでいる地域のことを外国の人に知ってもらいたい	—	小学校 80% 中学校 60%
中学生英検3級合格者		14%	40%

KPIの算出方法等記載
断定的肯定割合: 町子ども教育課「全国学力学習調査の質問」 中学生英検3級合格者: 町子ども教育課調べ

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績 検証

年度	実施計画	年度目標A 単位:%
2020年度	・コミュニケーション活動を支える教材・教具の充実 ・水曜英会話教室(仮称)の開設 ・中学生海外語学研修に加え、英語に親しむ場の提供 地域や町に関する知識・理解の獲得(聖籠学)	
2021年度	〃	
2022年度	〃 町採用非常勤のほかネイティブスピーカーの充実 英検3級受検の推奨	
2023年度	〃	
2024年度	〃	

実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:%	達成度(B/A) %	検証 推進会議での検証結果

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	2-④-3
2	④	3	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	未来を創る子どもの育成
事業名	子どもの興味・関心を刺激し、可能性を育む幼児教育の推進
具体的事業内容	子どもの興味・関心を刺激する教育内容の構成 子どもの可能性を見取り、自覚させる教育の推進 教員の指導力の向上

戦略策定時の課題	幼稚園機能に保育機能を付加したことにより、教諭の研修時間の確保が困難
----------	------------------------------------

戦略内容 (戦略記載文)	・幼児教育において特色ある教育内容を教育課程に位置付け、子どもの興味関心を刺激し、子どもの可能性を見取り、自覚させる教育を推進します。 ・遊びをとおした学びを充実させるために、教員研修を充実させるとともに必要な教材教具の整備に努めます。
-----------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
幼稚園教育の肯定的評価の割合	—	80%

KPIの算出方法等記載	
町子ども教育課調べ	

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:%	達成度 (B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:%
2020年度	特色ある教育内容の教育の検討・施行 教員の指導力向上のための研修の実施 子どもが活動に没頭できる教材・教具の整備	
2021年度	特色ある教育内容の教育の検討・施行 教員の指導力向上のための研修の実施 子どもが活動に没頭できる教材・教具の整備	
2022年度	特色ある教育内容の教育の実施 教員の指導力向上のための研修の実施 子どもが活動に没頭できる教材・教具の整備	
2023年度	特色ある教育内容の教育の改善・実施 教員の指導力向上のための研修の実施 子どもが活動に没頭できる教材・教具の整備	
2024年度	特色ある教育内容の教育の改善・実施 教員の指導力向上のための研修の実施 子どもが活動に没頭できる教材・教具の整備	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	2-④-4
2	④	4	

担当課	子ども教育課
-----	--------

基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
施策名	未来を創る子どもの育成
事業名	子どもと向き合う時間を生み出す学校の働き方改革の推進
具体的事業内容	「教員以外が担うべき業務」「必ずしも教師が担う必要のない業務」「負担軽減が可能な業務」の整理と業務見直し。 働き方改革推進のための環境整備

戦略策定時の課題	学習指導のみならず、学校が抱える課題は、より複雑化・困難化 教員勤務実態調査(H28)の集計でも看過できない教師の勤務実態
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	教育現場において教員が行う業務の整理と見直しを行い、働き方改革推進のための環境整備に取り組みます。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
教員の時間外勤務 月45時間超	60人	0人

KPIの算出方法等記載	
町子ども教育課調べ	

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:人	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:人
2020年度	各種業務の整理と見直し 生徒指導対応への支援 部活動指導員等の活用 業務支援体制の強化	
2021年度	〃	
2022年度	〃 地域のスポーツ・文化団体との連携	
2023年度	〃 校務支援システムの導入	
2024年度	〃	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	3-①-1
3	①	1	

担当課	総務課
-----	-----

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	地域コミュニティの振興・人材育成
事業名	集会用施設建設維持補助・地域振興支援事業の推進
具体的事業内容	・集会用施設建設維持補助事業：継続。 ・コミュニティが抱える課題等を踏まえ、新たなコミュニティ振興事業について検討。主体的で持続可能な地域運営組織の形成を促す。

戦略策定時の課題	・集会用施設の経費補助については、今後、施設の老朽化が進み、修繕件数・費用の増加が見込まれるため、2021年度から補助率の見直しと限度額を設定。(改修3/4補助→1/2補助、限度額：300万円) ・地域振興支援事業については、制度の趣旨や内容について各集落区長への周知は行っているが、ほぼ実績がないことから2018年度をもって廃止した。新たなコミュニティ振興事業について今後検討。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	地域コミュニティの振興を図るため、地域活動の拠点となる集会用施設の整備や老朽化への対応等地域づくりに寄与する活動を支援します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
なし	-	-

KPIの算出方法等記載

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:
2020年度	集会用施設建設維持補助事業の実施 コミュニティ振興事業の検討	
2021年度	集会用施設建設維持補助事業の実施 コミュニティ振興事業の実施	
2022年度	〃	
2023年度	〃	
2024年度	〃	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	3-①-2
3	①	2	

担当課	社会教育課
-----	-------

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	地域コミュニティの振興・人材育成
事業名	まちづくり創生大学創設による人材育成
具体的事業内容	若者がまちづくりに興味をもってもらう機会の提供 (座学・町内視察等)

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の認知度を高め、講座を継続していくことでまちづくりに興味を持つ若者を増やすことは引き続き重要。 ・戦略で目的とする「町民と行政によるまちづくりの協働」に向けて、まちづくり創生大学の具体的アウトカムを発現させていくことが今後の課題。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	次代を担う若者たちに町への理解を深め、地域への興味や関心を深めてもらうため、まちづくりに関する講座を開催します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
まちづくり創生大学年間修了者数(年平均)	14.5人 (2016～2019平均)	15人 (2020～2024平均)

KPIの算出方法等記載
まちづくり創生大学受講者のうち年回〇回以上参加者を修了者としてカウント

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:人	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:人
2020年度	現行事業を継続実施	15
2021年度	〃	15
2022年度	〃	15
2023年度	〃	15
2024年度	〃	15

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	3-②-1
3	②	1	

担当課	総務課
-----	-----

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	民間活力を活用した移住・定住の促進
事業名	住宅建築による定住の促進
具体的事業内容	民間活力による宅地造成を含め、住宅建築による定住を促進する。

戦略策定時の課題	引き続き民間活力による宅地造成を促進するため、開発事業者の相談に対し、助言指導を行っていく。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	民間活力による宅地造成を進め、住宅建築による定住を促進し、転入者を増やすとともに、転出の抑制を目指します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
町内新築建築数(木造新築家屋)	352 (2014～2018)	352 (2019～2023)

KPIの算出方法等記載
町税務財政課:「家屋に関する概要調書等報告書」の木造新築家屋数の平均

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:
2020年度 開発事業者の相談に対する助言指導	352
2021年度 "	352
2022年度 "	352
2023年度 "	352
2024年度 "	352

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	3-②-2
3	②	2	

担当課	生活環境課
-----	-------

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	民間活力を活用した移住・定住の促進
事業名	空き家の利活用の促進
具体的事業内容	・空き家等対策計画の策定(5か年計画) ・空き家等対策計画に基づき、空き家等の発生抑制、適正管理の促進、利活用の推進、管理不全空き家等への対応

戦略策定時の課題	支援制度を充実させてきたが、世帯の小規模化や核家族化が進むことにより、対策の重要性は高まるものと思われるので、取り組みについては加速させるべき。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	↓ 空き家等対策計画を策定するとともに、不動産、法務等の関係団体との連携を図りながら、空き家の利活用の促進・管理不全空き家の解消に取り組みます。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
管理不全空き家解消件数(累計)	8件 (2016～2019)	10件 (2020～2024)

KPIの算出方法等記載
町に登録されている管理不全空き家がとり壊し又は修繕等で管理不全が解消された件数

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:件	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

	実施計画	年度目標A 単位:件
2020年度	空き家等対策計画の策定、条例改正等	2
2021年度	計画に基づく対策を推進	2
2022年度	〃	2
2023年度	〃	2
2024年度	〃	2

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	3-③-1
3	③	1	

担当課	総務課
-----	-----

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	生涯活躍のまち構想の実現に向けた取り組み
事業名	生涯活躍のまち構想の実現に向けた取り組み
具体的事業内容	検討中

戦略策定時の課題	少子超高齢化の進展、人生100年時代ともいわれる長寿社会が到来しようとしており、高齢者が地域社会での役割を担いながら、自分らしく活動できるまちづくりの視点が今後さらに重要となる。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	人生100年時代の到来を見据え、「働く」「学ぶ」「地域で活動する」シニア世代の社会参加の希望実現のため、ハローワーク、シルバー人材センター、社会福祉協議会などの関係団体や大学や近隣自治体と連携しながら、情報を一体的に共有・提供し、地域のニーズとシニアの活躍の場をマッチングできるようガイド、コーディネートできる体制の環境整備に取り組みます。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
活動がない高齢者の割合	週1回:29.6% 月1回:21.8% (2017アンケート調査)	週1回 20.0%以下 月1回 10.0%以下 (2023アンケート予定)

KPIの算出方法等記載	
2017年8月に60歳～74歳までの町民対象アンケート。ふだんの活動に関する質問で「収入を伴う仕事」「集落の行事」「老人クラブ」「趣味サークル」「ボランティア」の6項目いずれにも活動がないと回答した人の割合	

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:%	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:%
2020年度 関係機関と調整、事業の検討・設計	
2021年度 事業の実施、評価検証	
2022年度 事業の実施、評価検証	
2023年度 事業の実施、評価検証・アンケート調査の実施	
2024年度 事業の実施、評価検証	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	3-③-2
3	③	2	

担当課	保健福祉課
-----	-------

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	生涯活躍のまち構想の実現に向けた取り組み
事業名	温泉施設等と連携した健康づくりポイ活事業x温泉施設
具体的事業内容	健診受診者、利用者にポイントを付与し、賞品と交換もしくは応募資格と交換とすることで、個人へのインセンティブにより、健診受診行動や健康づくり習慣の定着をねらい、町全体の健康寿命延伸を図る。

戦略策定時の課題	【町の現状】 町では、「働き盛り年代の生活習慣病の重症化」が目立ち、健康寿命にも大きく影響しており、保健事業における重点課題となっている。
----------	--

戦略内容 (戦略記載文)	<ul style="list-style-type: none"> ・町が実施する健診事業や各種団体が行うスポーツイベントなど、参加者、利用者へポイントを付与し、ポイントは温泉施設の利用や賞品などに交換。インセンティブにより健診受診行動や健康づくり習慣の定着をねらい町全体の健康長寿延伸を図る。 ・町内の温泉施設を健康づくり拠点の一つとし、民間企業との連携を図りながら施設整備を進めるとともに、健康や栄養に関する教室、スポーツイベント等健康への取り組みと温泉利用を連携させ、高齢者等の外出を促し、健康づくりへの自発的取り組みを促進させ、介護予防を図る。
-----------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
国保特定健診受診率	53.0% (2018)	60.0% (2023)

KPIの算出方法等記載

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:%	達成度 (B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:%
2020年度 関係部署との協議・個別事業計画作成	
2021年度 事業開始・個別事業評価実施	54.0
2022年度 個別事業評価実施・個人への効果検証	56.0
2023年度 "	58.0
2024年度 "	60.0

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	3-④-1
3	④	1	

担当課	生活環境課
-----	-------

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	地域公共交通手段の確保
事業名	循環バスの運行
具体的事業内容	新体系での運行開始を目指す

戦略策定時の課題	通勤、通学による利用や車を運転しない高齢者にとって公共交通は必要であり、費用対効果を考慮しながら、まちづくりとしての持続可能な公共交通体系の構築が必要
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	町で運営する循環バスの形態をより利用しやすいものに見直すとともに、民間が運行する路線バスとの連携を図りながら、利用しやすい公共交通手段の確保に努めます。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
循環バス利用者数(年間延べ)	34,399人 (2019)	50,000人 (2024)

KPIの算出方法等記載

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:人	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

年度	実施計画	年度目標A 単位:人
2020年度	10月から新体系での運行開始を目指す	35,000
2021年度	利用状況等を見ながら、路線・運行時間について必要な見直しを行う	50,000
2022年度	〃	50,000
2023年度	〃	50,000
2024年度	〃	50,000

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--

基本目標	施策番号	事業番号	3-④-2
3	④	2	

担当課	保健福祉課
-----	-------

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	地域公共交通手段の確保
事業名	高齢者タクシー利用料金の助成
具体的事業内容	高齢者がタクシーを利用する場合の費用の一部を助成

戦略策定時の課題	
----------	--

戦略内容 (戦略記載文)	免許を保有していない高齢者の自立した生活、必要な外出支援及び社会参加を促進させ、併せて高齢者運転事故の抑制を図ります。
-----------------	---

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
なし	-	-

KPIの算出方法等記載	-
-------------	---

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績 **検証**

	実施計画	年度目標A 単位:
2020年度	現行事業を継続実施	
2021年度	〃	
2022年度	〃	
2023年度	〃	
2024年度	〃	

実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:	達成度(B/A) %	検証 推進会議での検証結果

改訂の必要性や課題
次回戦略策定に向けての方向性など
(必要に応じて随時記入)

備考

基本目標	施策番号	事業番号	3-⑤-1
3	⑤	1	

担当課	生活環境課
-----	-------

基本目標	まちづくり～住み続けたいまちをかたちづくる～
施策名	防犯・防災対策の推進
事業名	防災行政無線のデジタル化への更新
具体的事業内容	防災行政無線(移動系)のデジタル化更新 防災行政無線(同報系)のデジタル化更新

戦略策定時の課題	現在使用しているアナログ方式の防災行政無線(移動系)は令和4年12月以降は使用できなくなるため、デジタル化への移行など防災情報の提供手段について整備が必要。 同報系についても設備が老朽化していることから、計画的にデジタル化への移行が求められている。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	町民への災害時の緊急連絡手段として利用している防災行政無線はアナログ方式であるため、社会の情報化に対応し、防災行政無線のデジタル化の更新を進めます。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	基準値	目標値
なし	-	-

KPIの算出方法等記載	-
-------------	---

実施計画(年度当初に見直し)⇒人事評価など組織の目標に設定

実績			検証
実績(次年度への課題・反省)	目標に対する実績B 単位:	達成度(B/A) %	推進会議での検証結果

実施計画	年度目標A 単位:
2020年度	
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	

改訂の必要性や課題 次回戦略策定に向けての方向性など (必要に応じて随時記入)	
---	--

備考	
----	--